

【こども保育スポーツ科】

アドミッションポリシー

●「現場力（社会人基礎力）を持った質の高い保育、幼児体育指導が提供できる人材の育成」を基に「やる気」と「適正」が確認取れた人財を募集する。

具体的には「サービスマインド」「チームワーク」が発揮できる人財。こども、保護者、同僚（スタッフ）全ての人から信頼される為に、仕事へのモチベーションを高く持ち、報告・連絡・相談、リーダーシップ、運営（マネジメント）が出来る＝卒業後、一緒に働きたいと思う学生を育成していきたい。

カリキュラムポリシー

●合格後の入学前教育。（プレカレッジ開催の徹底実施）目的意識の向上と不安の軽減。入学後、目的意識の固定をグループ活動を通して相互支援関係づくりを図る。

●保育所保育指針（厚生労働省）と幼稚園教育要領（文部科学省）を理解し、児童福祉施設における保育士としての役割、学校教育現場としての幼稚園教諭の役割を理解し、保育士・幼稚園教諭の意義を理解する。また、こどもを守る環境を整えられるようにし、地域における子育て支援に貢献できる人財を育成する。

●保育・幼児体育の現場で役立てられるように実技、演習を通し、体得し、座学で理論を学び、理解することができるようになる。相互支援の関係作りを継続して行いながら、コミュニケーション能力を身に付け、相手を思いやる心（サービスマインド）を養う。そして、その身に付けた思いを現場の子供たちやスタッフに向けられるように実習やワークを通して身に付ける。

ディプロマポリシー

●保育・教育・福祉・幼児体育・地域スポーツクラブ運営実習（CLUB-TSR）で学んだ知識と技術を現場で発揮できるようになる。

●こども保育スポーツ科の学生として誇りを持ち、日本スポーツ協会「ジュニアスポーツ指導員」の資格を必ず取得し卒業する。また、保育者として働く上で、幼児体育企業の役割、保育所の役割、幼稚園の役割を理解し、自ら問題発見、解決できるスキルを身に付け、問題発見・解決出来る自立した保育士・幼稚園教諭・幼児体育指導員となる。